

プラスチック複合材の再資源化技術に関する特許取得のお知らせ

ロックペイント株式会社(本社:大阪市西淀川区 代表取締役社長:内海東吾)は、資源循環型社会の推進に貢献すべく、プラスチック複合材の再資源化技術を開発し、今般、特許を取得しましたのでお知らせいたします。

プラスチック複合材は、単一素材では得られない優れた性能を発現する一方、複合された素材を分離することが困難であり、一般的にリサイクル性に劣るとされています。

このたび開発しました技術は、比較的低エネルギー、および短時間でポリエステル成分を分子レベルに解重合させるとともに、大幅な品質劣化を伴うことなく、ポリエステル以外のナイロンやポリオレフィン、アルミニウムなどの分離・回収を可能とするもので「ケミカルリサイクル」と「マテリアルリサイクル」を同時に進行させることができるということから「ロック・デュアルリサイクル技術(仮称)」と命名いたしました。

この技術により、長年課題とされてきたプラスチック複合材のリサイクル性を格段に向上させ得ると期待しており、具体的な適用分野としては、ラミネート複合材、塗装やインクが施されたプラスチック構造物や容器、さらには、二種類以上の成分が編み込まれた繊維などを想定しております。

また、ポリエステルの解重合により回収された分子から、PET 樹脂やラミネート用接着剤、塗料用樹脂などを再合成することも視野に入れ、実用化に向けた研究を鋭意進めて参ります。

特許 7539733 : ポリエステルを含む物質の再資源化方法

■お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは、弊社ホームページ内の「お問い合わせ Web フォーム」よりお願いいたします。
「お問い合わせ」>「その他お問い合わせ」>プルダウンメニュー内「再資源化技術について」をご選択ください。

📌 その他のお問い合わせ

<https://www.rockpaint.co.jp/contact/other.html>

